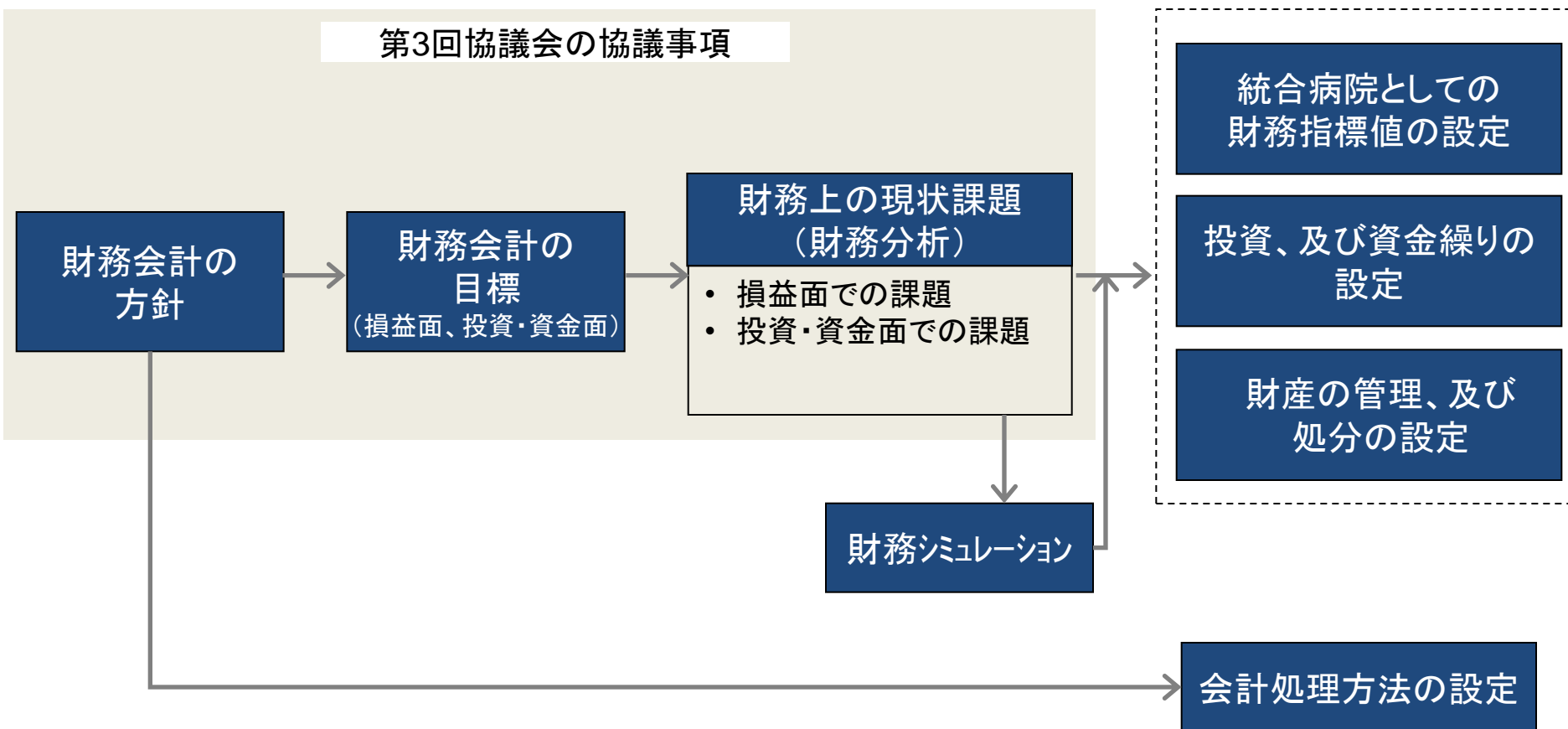


**【財務会計計画】**  
**財務会計の方針及び**  
**財務上の現状課題について**



## ■ 財務会計計画の検討の流れ

財務会計計画では、財務会計の方針と、損益、及び投資・資金面から財務会計の目標を設定し、財務分析により両病院の財務上の現状課題を明確にした上で、統合病院としての財務指標値、及び投資、及び資金繰り、財産の管理、及び処分を設定を行います。



## ■ 財務会計の方針・目標

### 財務会計の方針

黒字化を達成し、長期的に安定性のある経営を行う



### 財務会計の目標

#### 損益

- 黒字が達成できる収益及び費用の水準が確保できている
- 他の自治体開設病院と比べて遜色のない水準(単価、稼働率など)を確保できている

#### 投資・ 資金

- 設備投資の計画(両病院施設の建て替え、大型医療機器の更新など)が策定されている
- 必要な投資に耐えうるだけの資金が確保できている
- 短期的な支払いをまかなえるだけの資金が確保できている
- 長期的には設立団体の支援を必要としない資金計画が策定されている

## ■ 財務上の現状課題 財務分析項目(1/3)

財務的な視点で下記の項目に関して2病院それぞれについて分析を行い、その分析結果を今後財務シミュレーションの設定値に反映させていきます。

分類	分析項目	説明・分析意図
損益 (収益分析)	入院診療単価(全科・科別) (=入院収入÷入院延患者数) 患者1人入院で1日何円収入があるか	同規模施設の入院単価と比較をみる。今後必要となる医業収益額からの各科目単価設定を行い、そのギャップ分を埋めるための重点箇所(例.回復リハ等)を検討する。
	外来診療単価(全科・科別) (=外来収入÷外来延患者数) 患者1人外来で1回何円収入があるか	同規模施設の外来単価と比較をみる。今後必要となる医業収益額からの各科目単価設定を行い、そのギャップ分を埋めるための重点箇所(例.外科等)を検討する。
	患者数推移(全科・科別) (年間の延利用者数)	患者数の推移を検討し、その傾向をみる。目標患者数設定の目安として把握する。
	平均在院日数 (＝在院延患者数÷ {(新入院患者数+退院患者数)÷2})	同規模施設の平均在院日数と比較をみる。統合病院での病院機能を考慮して目標設定するために現状を把握する。
	病床利用率(許可病床ベース) (＝在院延患者数÷許可病床数)	同規模施設の利用率と比較をみる。今後必要となる医業収益額からの目標利用率設定を行う。
	病床利用率(実稼働病床ベース) (＝在院延患者数÷実稼働病床数)	現在の稼働実績を同規模施設の利用率と比較をみる。今後必要となる医業収益額からの目標利用率設定を行う。
	DPC機能係数Ⅱの評点 ※ DPC: 医療費の定額支払制度に用いられる評価方法	鰺沢病院の収益アップの可能性の余地を検討する。新病院の収益アップ目標値となる。(DPCについては急性期病院が対象)
	100床当たり手術件数 (＝手術件数÷許可病床数)	同規模施設と比較して手術室の稼働の多寡をみる。
	医業利益率(＝医業利益÷医業収益) ※医業利益＝医業収益－医業費用	医業本業での利益率を表す。企業でいう営業利益に相当する。
	損益分岐点 (経常利益が±0になる医業収益高) ※経常利益＝医業利益＋医業外収益－医業外費用	現状運営ベースでの固定費(例.人件費等)を回収するための必要となる医業収益額を把握する。
	施設別損益計算書	病院・老健の施設別の損益計算を把握、それぞれの収益の特徴と問題点を把握する。

## ■ 財務上の現状課題 財務分析項目(2/3)

財務的な視点で下記の項目に関して2病院それぞれについて分析を行い、その分析結果を今後財務シミュレーションの設定値に反映させていきます。

分類	分析項目	説明・分析意図
損益 (費用分析)	給与費: 医業収益100に対する比率 (=給与費÷医業収益)	同規模施設と比べて人件費の占める割合の高さをみる。黒字と赤字の病院に特徴的な兆候を示す指標のため、必要となる医業収益額の根拠となる。
	材料費: 医業収益100に対する比率 (=材料費÷医業収益)	同規模施設と比べて材料費の占める割合をみる。今後の一括購入でのスケールメリットの表れをみるために必要であり、購買部門の1つの成果指標として検討する。
	薬品費: 医業収益100に対する比率 (=薬品費÷医業収益)	同規模施設と比べて薬品費の占める割合をみる。今後の一括購入でのスケールメリットの表れをみるために必要であり、購買部門の1つの成果指標として検討する。
	経費: 医業収益100に対する比率 ※ 光熱水費、賃借料等 (=経費÷医業収益)	同規模施設と比べて経費の占める割合の高さをみる。比率の高低から削減目標を検討、特に目立つ費目を特定して目標設定を検討する。
	委託費: 医業収益100に対する比率 (=委託費÷医業収益)	同規模施設と比べて委託費の占める割合の高さをみる。新病院での契約更新での削減効果の成果を検討する。
	減価償却費: 医業収益100に対する比率 (=減価償却費÷医業収益)	同規模施設と比べて減価償却費の占める割合の高さをみる。
	研究研修費: 医業収益100に対する比率 (=研究研修費÷医業収益)	同規模施設と比べて研究研修費の占める割合の高さをみる。新病院での目標設定値の検討のため現状を把握する。
	支払利息: 医業収益100に対する比率 (=支払利息÷医業収益)	同規模施設と比べて支払利息の占める割合の高さをみる。

## ■ 財務上の現状課題 財務分析項目(3/3)

財務的な視点で下記の項目に関して2病院それぞれについて分析を行い、その分析結果を今後財務シミュレーションの設定値に反映させていきます。

分類	分析項目	説明・分析意図
投資・資金 (安全性分析)	流動比率 (=流動資産÷流動負債) ※流動資産、流動負債はP12参照	現状の短期支払能力(1年以内に現金化できるものと1年以内に支払を要請されるものとの比率)をみる。(比率が高いほど経営としては良い)
	固定長期適合率 (=固定資産÷(固定負債+純資産)) ※固定資産、固定負債、純資産はP12参照	設備投資を長期に返済が猶予される資金の範囲内で賅っているかどうかをみる。(比率が低いほど経営としては良い)
	自己資本比率 (=純資産÷総資産) ※総資産はP12参照	当初の拠出金と自己の利益積立でどのくらい運用を賅っているかをみる。
投資・資金 (資金繰り分析)	運転資金 (=医業未収金+医薬品+貯蔵品 -買掛金-未払金)	病院が事業を日々回していくために必要な資金を把握する。
	キャッシュフロー計算書	現預金の増減の原因を探る。
	キャッシュフロー分岐点	損益計算のプラスマイナス均衡点ではなく、現預金ベースでのプラスマイナス均衡点を探る。
	フリーキャッシュフロー (=医業活動によるキャッシュフロー +投資活動によるキャッシュフロー)	病院経営の本業中心にどれだけの現預金を獲得をしているか。返済に回せる現預金が現状どれだけあるのか検証する。
	借入金月商倍率 (=返済すべき借入金÷月平均医業収益)	医業収益と要返済借入金とのバランスが適正かどうかを検討する。 (比率が低いほど経営としては良い)
	債務償還年数 (=返済すべき債務÷(医業利益+減価償却費))	現在の債務を、現在の利益ベースの返済余力でどのくらいの年数で完済できるかをみる。

# ■ 財務上の現状課題 財務分析結果(損益(収益分析))

## 分析結果(課題)

- ・2病院とも入院単価がベンチマーク値(※)を下回っており、特に市川三郷は大きく下回っている
- ・鵜沢病院の外来単価がベンチマーク値を下回っている
- ・2病院とも病床利用率でベンチマーク値を大きく下回っている
- ・2病院とも赤字であり、特に鵜沢病院の医業利益率がベンチマーク値を大きく下回っている
- ・2病院とも手術件数がベンチマーク値を大きく下回っている

※ ベンチマーク値とは、他病院の平均値を意味している

## 分析結果から言えること(示唆)

- ・統合病院における病床利用率を改善する  
救急車受入件数を増加させる  
鵜沢病院の内科病棟を再開する  
市川三郷で回復期リハビリテーションの患者を取込む
- ・統合病院における入院単価をアップする  
DPC機能係数Ⅱで評価アップできる施策を検討する(例.対応疾患数増による複雑化係数のアップ)
- ・統合病院における手術件数を増やす  
山梨大学の手術待機患者(がん疾患等)を取り込める手術体制を整える

分析項目	市川三郷病院 23年度	鵜沢病院 23年度	ベンチマーク 市町村開設(※1)	参考ベンチマーク1 市町村開設(※2)	参考ベンチマーク2 公的開設(※3)
入院単価 患者1人入院で1日何円収入があるか	30,198円	39,572円	40,907円	28,904円	41,650円
外来単価 患者1人外来で1回何円収入があるか	10,928円	8,206円	8,987円	8,987円	12,145円
病床利用率 年間平均でどのくらいベッドが埋まっているか	55.4%	35.8%	68.7%以上	68.9%以上	74.6%以上
医業利益率 医業本業での利益率	-11.9%	-15.8%	-13.2%以上	-13.2%以上	0.1%以上
100床当たり手術数 病床100ベッドに対する年間手術件数	300件	288.6件	476.4件 以上	271.2件 以上	404.4件 以上

※1 市町村開設の病院200~299床(DPC) 出典:「病院経営分析調査報告」 社団法人日本病院協会

※2 市町村開設の病院100~199床(DPC以外) 出典:「病院経営分析調査報告」 社団法人日本病院協会

※3 その他公的開設(社保等)の病院100~199床(DPC) 出典:「病院経営分析調査報告」 社団法人日本病院協会



## ■ 財務上の現状課題 財務分析結果(損益(費用分析))

### 分析結果(課題)

- ・市川三郷の給与費率がベンチマーク値を大きくオーバーしている(民間の黒字病院の平均値は53.8%)
- ・市川三郷の材料費率がベンチマーク値をオーバーしている
- ・鵜沢病院の経費率、委託費率がベンチマーク値をオーバーしている

### 分析結果から言えること(示唆)

- ・給与費額を医業収益とのバランスから適正化、もしくは医業利益を上げる施策を検討する
- ・医療材料、薬品等の購入で統合のスケールメリットを求める
- ・鵜沢病院の経費の中で金額の大きいものにつき削減を検討する(光熱水費、消耗品費、賃借料)
- ・統合病院への移行を機に、委託費の各項目の契約内容や契約方法を見直す

分析項目	市川三郷病院 23年度	鵜沢病院 23年度	ベンチマーク 市町村開設(※1)	参考ベンチマーク1 市町村開設(※2)	参考ベンチマーク2 公的開設(※3)
給与費率 医業収益に給与費の占める割合	69.9%	60.8%	61.0%以下	65.5%以下	54.1%以下
材料費率 医業収益に材料費の占める割合	24.1%	21.1%	23.1%以下	21.4%以下	23.4%以下
薬品費率 医業収益に医薬品費の占める割合	14.8%	13.5%	14.3%以下	14.3%以下	16.2%以下
経費率 医業収益に経費の占める割合	13.8%	23.2%	17.6%以下	18.3%以下	14.3%以下
委託費率 医業収益に委託費の占める割合	7.3%	10.9%	9.3%以下	9.3%以下	6.4%以下

※1 市町村開設の病院200~299床(DPC) 出典:「病院経営分析調査報告」 社団法人日本病院協会

※2 市町村開設の病院100~199床(DPC以外) 出典:「病院経営分析調査報告」 社団法人日本病院協会

※3 その他公的開設(社保等)の病院100~199床(DPC) 出典:「病院経営分析調査報告」 社団法人日本病院協会

# 財務上の現状課題 財務分析結果(投資・資金(安全性分析))

## 分析結果(課題)

- 市川三郷病院の短期支払能力を示す流動比率はベンチマーク値を大きく下回り、非常に苦しい状況にある
- 2病院とも長期的な資金調達の範囲内で設備投資を行っている
- 2病院の24年3月末の貸借対照表から、2病院とも利益剰余金はマイナスであり、当初拠出金より自己資本を減らしている

## 分析結果から言えること(示唆)

- 市川三郷病院の短期支払能力を下支えするために運転資金の補てんを検討する
- 両町の財政支出の規模を検討する

分析項目	市川三郷病院 23年度	鯉沢病院 23年度	ベンチマーク 自治体開設(※1)	参考ベンチマーク 社保開設(※2)
流動比率 短期間での支払能力をみる	106.7%	229.7%	491.7%以上	229.7%以上
固定長期適合率 設備投資を長期返済猶予の資金調達の範囲内で賄えているか	98.2%	33.4%	86.2%以下	96.7%以下
自己資本比率 (企業債分除く) 拠出金と利益積立で運用が賄えている割合	79.1% (63.4%)	-618%	56.4%以上	23.7%以上

※1 自治体開設の病院 出典:「病院経営管理指標H22」厚生労働省

※2 社保開設の病院 出典:「病院経営管理指標H22」厚生労働省

※ 鯉沢病院の固定資産は病院建物が計上されていない

# ■ 財務上の現状課題 財務分析結果(投資・資金(資金繰り分析))

## 分析結果(課題)

- ・2病院の24年3月末の貸借対照表から、運転資金必要額は2病院合わせて4億円弱程度となる
- ・鰺沢病院の借入月商倍率は目安値を大きくオーバーしており、経営として厳しい
- ・2病院とも現在の医業利益水準では借入金の返済原資をねん出できていない

## 分析結果から言えること(示唆)

- ・統合病院の開院時に運転資金分の補助を検討する必要がある
- ・鰺沢病院は医業収益と借入金のバランスが大きく崩れているため、医業収益を上げる施策を検討する必要がある
- ・2病院とも返済原資がないため、民間金融機関からの資金調達は困難と考えられる

分析項目	市川三郷病院 23年度	鰺沢病院 23年度	ベンチマーク 自治体開設(※1)	参考ベンチマーク 社保開設(※2)
運転資金 運転に必要な資金	258,391 千円	130,668 千円	...	...
借入月商倍率 月平均医業収益の何倍、借入金があるか	5.2倍	14.5倍	6倍以内 (目安値)	6倍以内 (目安値)
債務償還年数 現在の利益で借入金返済をすると何年かかるか	医業利益からの返済は不能 ※	医業利益からの返済は不能 ※	7.3年以内	7.3年以内

※1 自治体開設の病院 出典:「病院経営管理指標H22」厚生労働省

※2 社保開設の病院 出典:「病院経営管理指標H22」厚生労働省

※ 医業利益が確保できていないため、借入返済に回す資金を拠出できない

## ■ 参考:貸借対照表の構成

貸借対照表

資産	負債	} 総資産
<p><b>【流動資産】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現預金</li> <li>• 有価証券</li> <li>• 医業未収金</li> <li>• 医薬品</li> <li>• 貯蔵品</li> <li>• 未収収益 等</li> </ul>	<p><b>【流動負債】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 買掛金</li> <li>• 未払金</li> <li>• 一時借入金</li> <li>• 預かり金 等</li> </ul>	
<p><b>【固定資産】</b></p> <p>有形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 土地</li> <li>• 建物</li> <li>• 器械備品</li> <li>• 車両 等</li> </ul> <p>無形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 借地権</li> <li>• 電話加入権 等</li> </ul>	<p><b>【固定負債】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 長期借入金</li> <li>• 退職手当引当金 等</li> </ul>	
<b>純資産(※)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 資本金</li> <li>• 剰余金 等</li> </ul>		

※ 市川三郷町立病院の場合は「資本の部」、  
 鵜沢病院の場合は「基金勘定」として表記

## ■ 参考：市川三郷病院貸借対照表5期比較

単位：千円	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
流動資産	489,748	456,920	457,981	537,378	461,782
現預金	17,769	34,622	12,909	38,053	57,479
未収金	445,648	391,593	421,751	457,544	370,597
貯蔵品	26,331	30,705	23,321	41,781	33,706
前払金	0	0	0	0	0
その他流動資産	0	0	0	0	0
有形固定資産	1,748,637	1,704,782	1,660,452	1,666,508	1,612,750
土地	75,733	75,733	75,733	75,733	75,733
建物	929,879	908,808	879,246	901,459	872,576
建物付属設備	0	0	0	0	0
構築物	0	0	0	0	0
器械備品	740,979	718,195	703,427	687,054	662,232
車両	2,046	2,046	2,046	2,262	2,209
その他有形固定資産	0	0	0	0	0
資産合計	2,238,385	2,161,702	2,118,433	2,203,886	2,074,532
流動負債	395,382	428,896	452,760	522,632	432,616
一時借入金	190,000	250,000	270,000	290,000	280,000
未払金	198,951	172,160	176,555	225,958	145,912
その他流動負債	6,431	6,736	6,205	6,674	6,704
資本の部(純資産)	1,843,003	1,732,805	1,665,673	1,681,255	1,641,916
資本金	702,796	620,156	551,368	502,278	451,121
自己資本金	124,973	124,973	124,973	124,973	124,973
借入資本金(企業債)	577,823	495,183	426,395	377,305	326,148
剰余金	1,140,207	1,112,649	1,114,305	1,178,977	1,190,795
資本剰余金	1,543,469	1,582,616	1,628,138	1,701,273	1,711,920
利益剰余金	-403,262	-469,967	-513,833	-522,296	-521,125

## 参考：市川三郷病院損益計算書5期比較

単位：千円	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
医業収益	1,446,721	収益比	1,483,110	収益比	1,453,001	収益比	1,400,887	収益比	1,412,112	収益比
入院収益	599,697	41.5%	649,060	43.8%	619,357	42.6%	603,261	43.1%	612,572	43.4%
外来収益	792,217	54.8%	761,162	51.3%	763,234	52.5%	728,774	52.0%	732,828	51.9%
その他医業収益	54,807	3.8%	72,888	4.9%	70,410	4.8%	68,852	4.9%	66,712	4.7%
医業費用	1,678,611	116.0%	1,652,981	111.5%	1,632,693	112.4%	1,569,327	112.0%	1,579,605	111.9%
給与費	1,022,540	70.7%	993,806	67.0%	960,151	66.1%	968,819	69.2%	987,693	69.9%
材料費	370,123	25.6%	376,128	25.4%	383,585	26.4%	336,297	24.0%	339,725	24.1%
うち薬品費	226,633	15.7%	235,775	15.9%	244,167	16.8%	209,373	14.9%	208,790	14.8%
経費	208,306	14.4%	207,859	14.0%	217,597	15.0%	197,931	14.1%	194,207	13.8%
うち消耗品費	5,899	0.4%	6,503	0.4%	6,205	0.4%	7,461	0.5%	7,679	0.5%
うち光熱水費	27,469	1.9%	31,367	2.1%	28,973	2.0%	29,228	2.1%	31,631	2.2%
うち賃借料	41,089	2.8%	38,116	2.6%	36,816	2.5%	25,091	1.8%	14,202	1.0%
うち委託費	100,387	6.9%	97,714	6.6%	106,603	7.3%	101,922	7.3%	103,043	7.3%
減価償却費	73,033	5.0%	71,615	4.8%	67,879	4.7%	60,208	4.3%	54,123	3.8%
資産減耗費	1,142	0.1%	506	0.0%	1,142	0.1%	2,828	0.2%	578	0.0%
研究研修費	3,467	0.2%	3,067	0.2%	2,339	0.2%	3,244	0.2%	3,279	0.2%
医業利益	-231,890	-16.0%	-169,871	-11.5%	-179,692	-12.4%	-168,440	-12.0%	-167,493	-11.9%
医業外収益	150,815	10.4%	154,288	10.4%	181,665	12.5%	203,972	14.6%	205,464	14.6%
医業外費用	52,141	3.6%	51,120	3.4%	45,840	3.2%	43,995	3.1%	36,801	2.6%
うち支払利息	22,430	1.6%	20,068	1.4%	12,463	0.9%	11,013	0.8%	10,063	0.7%
経常利益	-133,216	-9.2%	-66,703	-4.5%	-43,867	-3.0%	-8,463	-0.6%	1,170	0.1%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
当期純損益	-133,216	-9.2%	-66,703	-4.5%	-43,867	-3.0%	-8,463	-0.6%	1,170	0.1%

## 参考：鯉沢病院貸借対照表5期比較(資産の部)

単位:千円	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
流動資産	473,299	367,952	346,010	407,029	372,549
現預金	139,796	87,958	85,291	133,211	108,408
医業未収金	298,305	246,713	230,806	240,765	231,090
有価証券	0	0	0	0	0
医薬品	16,835	19,062	13,786	17,547	13,341
給食用材料	0	0	0	0	0
貯蔵品	3,923	5,670	6,218	5,970	6,400
短期貸付金	0	0	0	0	0
前払金	0	0	0	0	2
未収収益	8,784	6,054	6,844	5,985	7,092
前払費用	0	11	0	0	1,924
その他流動資産	5,656	2,484	3,065	3,551	4,292
有形固定資産	162,797	141,483	123,512	116,797	93,053
土地	16,028	16,028	16,028	16,028	16,028
建物	0	0	0	0	0
建物付属設備	0	0	0	0	0
構築物	0	0	0	0	0
医療用器械備品	112,852	99,050	85,840	85,728	64,087
その他器械備品	33,529	26,017	21,256	14,477	12,835
車両船舶	388	388	388	564	103
放射性同位元素	0	0	0	0	0
その他有形固定資産	0	0	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	0	0
無形固定資産	1,503	18,558	15,470	11,195	11,488
借地権	0	0	0	0	0
電話加入権	532	532	532	532	532
その他無形固定資産	971	18,026	14,938	10,663	10,956
その他資産	94,009	83,458	24,709	8,945	868
長期貸付金	0	0	0	0	0
その他投資	94,009	83,458	24,709	8,945	868
繰延資産	9,422	6,317	3,849	1,750	0
資産合計	741,030	617,768	513,550	545,716	477,958

## 参考：鯉沢病院貸借対照表5期比較(負債・資本の部)

単位：千円	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
流動負債	148,139	147,154	117,677	151,551	162,169
買掛金	87,424	71,772	70,576	82,513	79,337
未払金	41,949	61,478	37,375	58,910	40,826
短期借入金	0	0	0	0	0
預り金	3,553	1,378	581	227	126
職員預り金	7,403	7,172	5,416	6,517	6,447
未払費用	7,650	4,893	3,729	3,384	3,922
前受収益	0	0	0	0	0
賞与引当金	0	0	0	0	31,271
その他流動負債	160	461	0	0	240
固定負債	2,766,969	2,787,789	2,970,126	3,194,643	3,273,308
長期借入金	1,783,925	1,686,485	1,689,045	1,783,125	1,838,885
退職手当引当金	246,508	255,719	303,577	302,095	331,282
特別修繕引当金	64,194	54,072	54,072	54,072	0
その他固定負債	672,342	791,513	923,432	1,055,351	1,103,141
基金勘定(純資産)	-2,174,078	-2,317,177	-2,574,252	-2,800,478	-2,957,520
基金剰余金	183,758	183,758	40,660	1,082	1,216
設備寄付金	183,758	183,758	40,660	1,082	1,216
利益剰余金	-2,357,836	-2,500,935	-2,614,912	-2,801,560	-2,958,736
利益準備金	0	0	0	0	0
繰越利益剰余金	-2,358,756	-2,357,836	-2,357,836	-2,574,253	-2,795,165
当期剰余金	920	-143,099	-257,076	-227,307	-163,571



## 参考：鯉沢病院損益計算書5期比較

単位：千円

	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
医業収益	1,813,113	収益比	1,689,952	収益比	1,438,206	収益比	1,514,087	収益比	1,522,288	収益比
入院収益	1,119,616	61.8%	997,821	59.0%	797,192	55.4%	827,556	54.7%	819,973	53.9%
室料差額収益	28,739	1.6%	20,727	1.2%	12,023	0.8%	15,330	1.0%	13,603	0.9%
外来診療収益	438,340	24.2%	433,387	25.6%	391,399	27.2%	429,291	28.4%	436,002	28.6%
保健予防活動収益	193,141	10.7%	210,272	12.4%	209,368	14.6%	214,461	14.2%	221,983	14.6%
医療相談収益	23,180	1.3%	21,188	1.3%	21,155	1.5%	21,113	1.4%	25,562	1.7%
受託検査施設利用収益	3,596	0.2%	3,092	0.2%	3,903	0.3%	3,315	0.2%	3,521	0.2%
その他医業収益	6,501	0.4%	3,465	0.2%	3,166	0.2%	3,021	0.2%	1,644	0.1%
医業費用	1,839,994	101.5%	1,852,789	109.6%	1,698,345	118.1%	1,747,068	115.4%	1,762,485	115.8%
給与費	946,731	52.2%	1,017,159	60.2%	935,181	65.0%	910,187	60.1%	925,511	60.8%
材料費	349,605	19.3%	312,041	18.5%	281,891	19.6%	297,061	19.6%	321,691	21.1%
うち薬品費	184,607	10.2%	167,881	9.9%	154,518	10.7%	172,791	11.4%	205,303	13.5%
経費	367,588	20.3%	348,243	20.6%	308,138	21.4%	365,322	24.1%	353,056	23.2%
うち消耗品費	22,331	1.2%	21,912	1.3%	15,605	1.1%	27,460	1.8%	25,876	1.7%
うち光熱水費	83,430	4.6%	81,252	4.8%	62,761	4.4%	70,499	4.7%	76,023	5.0%
うち賃借料	12,240	0.7%	14,149	0.8%	23,624	1.6%	37,871	2.5%	38,397	2.5%
うち租税公課	12,374	0.7%	10,871	0.6%	10,567	0.7%	9,494	0.6%	9,865	0.6%
うち委託費	176,512	9.7%	173,171	10.2%	160,719	11.2%	166,843	11.0%	166,007	10.9%
研究研修費	6,582	0.4%	7,001	0.4%	5,624	0.4%	5,803	0.4%	5,012	0.3%
減価償却費	169,488	9.3%	168,345	10.0%	167,511	11.6%	168,695	11.1%	157,215	10.3%
医業利益	-26,881	-1.5%	-162,837	-9.6%	-260,139	-18.1%	-232,981	-15.4%	-240,197	-15.8%
医業外収益	11,345	0.6%	11,415	0.7%	8,833	0.6%	8,069	0.5%	38,998	2.6%
医業外費用	12,989	0.7%	11,697	0.7%	14,763	1.0%	11,733	0.8%	42,990	2.8%
うち支払利息	4,743	0.3%	4,313	0.3%	3,950	0.3%	3,883	0.3%	3,733	0.2%
経常利益	-28,525	-1.6%	-163,119	-9.7%	-266,069	-18.5%	-236,645	-15.6%	-244,189	-16.0%
特別利益	29,976	1.7%	23,655	1.4%	10,329	0.7%	10,689	0.7%	83,652	5.5%
特別損失	531	0.0%	3,633	0.2%	1,336	0.1%	1,351	0.1%	3,034	0.2%
当期純損益	920	0.1%	-143,097	-8.5%	-257,076	-17.9%	-227,307	-15.0%	-163,571	-10.7%